施策評価調書(2年度実績)

				施策コード Ⅲ-	1-(7)
政策体系	変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	135
以束体系	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	教育庁		

【 I . 主な取り組み】

取組No.	1	2	3
取組項目	多様な学習活動への支援	社会全体の「協育」力の向上	コミュニティの協働による 家庭教育支援の推進

【Ⅱ. 目標指標】

						6年度	E度 目標達成度(%)						
	1日 1宗	取組No.	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	「協育」ネットワークの取り組みに参加する地域住民の数(万人)	23	H26	7.8	10.80	10.41	96.4%	11.0					
ii	公立図書館の利用者数(万人)	1	H26	229	265	131	49.4%	268					

【Ⅲ. 指標による評価】

	評価	理由等	平均評価
i	概ね 達成	「地域とともにある学校づくり」協議会の開催など、「協育」ネットワークとコミュニティ・スクールとの連携を強化したことにより、地域学校協働活動が充実し、目標値を概ね達成した。	達成
ii	著しく不十分	新型コロナウイルス対策として、宅配貸出や電子書籍などの非来館型サービスを進めたものの、県内全域で休館や開館時間の短縮など利用制限が 続いたことで、来館者数が大きく減少し目標値を達成できなかった。	不十分

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
1	・女性団体の活動を通して、女性ならではの視点をいかした子どもの健全育成や地域防災の活動が展開された。 ・電子書籍の実証実験に、3,920人の高校生等が参加した。
2	・「協育」ネットワーク関係者を対象とした研修の実施や学校関係者への 普及活動により、地域における子どもの見守りや家庭の見守りなど子ど もの学びを支える支援の輪が広がり、地域教育力が向上した。 ・地域人材を活用した放課後等の活動に8,498人の児童・生徒が参加した。 ・森林環境学習指導者を新たに養成するとともに、養成した指導者も児 童・生徒に対して自然体験活動の機会を提供することができた。
3	・「協育」ネットワークを基盤とした「協育」力を活かし、学校・家庭・地域 をつなぐ家庭教育支援体制を整備したことにより、家庭教育支援の取り 組みに104,080人の地域住民が参加した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(2年度事業)	事務事業評価			
No.	争未有(Z牛皮争未) 	成果指標の達成率(%)	掲載頁		
	女性の地域活動活性化支援事業	100.0	332		
_	「みんなの読書」拡大推進事業	128.6	332		
	外国人とのコミュニケーション拡大事業	132.5	332		
2	森林環境学習促進事業	64.4	333		
23	学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	96.4	333		

【VI. 施策に対する意見・提言】

○大分県社会教育委員会議(R3.1) ・地方の人口が減り続ける中、地域の持続的発展に資する人材の育成が喫緊の課題であり、それらに寄与する施策が展開されつつある。

【Ⅵ、総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	・各地域の課題解決に向け、女性団体のリーダーを育成するとともに、女性による地域活動活性化の取り組みを支援する。 ・高校生への1人1台タブレットの配置に伴い、高校生等に専門書、参考図書を中心とした電子書籍の提供を継続する。 ・子どもたちの補充学習や体験活動の機会拡大に向け、地域学校協働活動推進員等を核として、支援者の確保と活動プログラムの充実を図るとともに、地域活動への関わりを通じて支援者自身の生きがいづくりと社会参画を促進する。 ・森林環境学習を推進するため、森林環境学習指導者の養成と児童・生徒への学習機会の提供を行うとともに、R4年度に大分県で開催される全国育樹祭への機運を醸成する。 ・家庭教育支援部会の活動を活性化するため、市町村に対する部会設置の働きかけや保護者への啓発を図り、家庭教育支援体制を整備する。